九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[003]臺灣演習林植物調査

初島, 住彦
九州帝国大学助手

https://doi.org/10.15017/14202

出版情報：九州帝国大学農学部演習林報告. 3, pp.1-257, 1933-06. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

タイワンチガタマノキ	1,800	2,100	
クスノキ	1,800	1,800	900
アツバクスノキ	1,200	1,200	
オホバタブ	1,500	1,800	900
タブノキ	900		
ウラジロアカメガシハ	1,500	1,200	
ホルトノキ	1,500	1,800	1,200
タイワンツバキ	1,500	2,100	
シマサルスベリ	1,500	1,500	
フカノキ	900	2,400	900
ハンノハエゴノキ	1,200	2,400	1,500
ウラジロエゴノキ	900	1,200	750

(五) 演習林内に於ける主要樹種

オホバタブ

Machilus Kusanoi Hayata

本種は臺灣特產の喬木にして演習林の海拔六百米附近以下の谷間の森林に最も多く樹高三十米內外、胸高直徑一米以上に達するもの稀ならず、材積より見ればウライガシ、タカサゴジヒと共に演習林內の三大主林木と稱し得べく、第七林班第四號腦寮附近には代表的の純林に近き森林を見得べし。

ウライガシ

Lithocarpus uraiana Hayata

臺灣特產の喬木にして樹高二十米內外胸高直徑一米以上に達するもの稀ならず、海拔七百米附近以下の演習林內各地に最も普通に見られ、一見タカサゴジヒに酷似するも殼斗は堅果全體を包まざるを以て一見區別し得べし。

タカサゴジヒ

Shiia stipitata Kudo et Masamune

一見內地產のコジヒに酷似するも樹皮は深裂し葉は稍々大形なり。八百米附近以下の山腹に普通にして大木多し。

イチヰガシ

Quercus gilva Blume

本林內七百米附近以下の山腹の森林に多く、直徑一米以上枝下十數米に及ぶもの稀ならず。材はカシ類中最上等のものなれば利用方面廣し。本州中南部以南臺灣迄分布す。

シマサルスベリ

Lagerstroemia subcostata Koehne var. hirtella Koehne

九州の屋久島、奄美大島及臺灣、支那中部に生ずる喬木にして花は白色樹幹は赤黃色を呈し滑澤なり。多く谷間の森林に生じ胸高直徑一米に達するものあり。材は硬く製炭材として良好なりと云ふ。

フヂバシデ

Engelhadtia formosana Hayata

葉は羽狀複葉をなすクルミ科の落葉喬木にして臺灣特產なり。

タイワンヲガタマノキ

Michelia compressa Max. var. formosana Kanehira

海拔五百米附近以下の低地の森林內に多く胸高直徑一米に及ぶ喬木にして臺灣特產なり。ヲガタマノキに酷似するも葉は狹少果實は稍々小形なり。

ハンノハエゴノキ

Alniphyllum Fortunei Makino

海拔五、六百米以下の低地の森林に生ずる喬木にして臺灣、支那に分布す。材は薪材に供す。

アカバナシキミ

Illicium arborescens Hayata

演習林內各所の森林に最も多き亞喬木にして、一見シキミに酷似するも花瓣紅色

にして短かく實は稍々薄く背葵の數多く臺灣の固有種なり。

ナンバンアハブキ

Meliosma squamulata Hance

演習林内各所の森林に前者と共に極めて多き亞喬木にして、奄美大島以南臺灣を經て香港に分布す。

タイワンヤマモガシ

Helicia formosana Hemsley

臺灣特產の亞喬木にして谷間の森林に多く、葉はヤマモガシに比し遙かに大形なり。

(六) 演習林内產珍奇植物

ムカシリウビンタイ

Archangiopteris Somai Hayata

本植物は本島の固有種にして古代型を有する羊齒類の一種なり。明治四十三年十二月故臺灣總督府師範學校教諭相馬禎三郎氏が臺北廳新店支廳蕃地ラハウ社に於て發見せるものにして、嘗て佛領印度支那に於て發見せる Archangiopteris Henryi と同屬品なることを以て有名なり。而して本種の產地としては前記ラハウ社及び同地附近の外臺中州新高郡魚地庄、臺東廳大武支廳チョカクライ社に見るの外其の他に產地あるを聞かず、本林内殊に第二、第三林班に多く之を見るは最も珍なりとし又誇とするに足らむ。

ジヤカウシダ

Diplazium odoratissimum Hayata

臺灣の固有種にして僅かに北部ウライ社宜蘭尖山湖及羅東小林に之を產するを知るのみにして他地に之を發見せず、本種は植物學上珍奇なるのみならず乾燥せる植物は猛烈なる香氣を發散し、和名の據つて來る處を想起せしむるに足る。適當なる方法にて香料を製し得ば有用なる羊齒ならん。